

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI・先進国株式インデックス・ファンド（愛称：雪だるま（先進国株式）」）は2023年11月13日に第6期決算を行いました。

当ファンドは、先進国株式インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、先進国の株式市場の動きを捉えることをめざして、FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第6期末（2023年11月13日）

基準価額	18,977円
純資産総額	19,794百万円
第6期	
騰落率	18.2%
分配金（税込み）合計	0円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI・先進国株式 インデックス・ファンド （愛称：雪だるま（先進国株式））

追加型投信／内外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第6期（決算日：2023年11月13日）

作成対象期間（2022年11月15日～2023年11月13日）

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

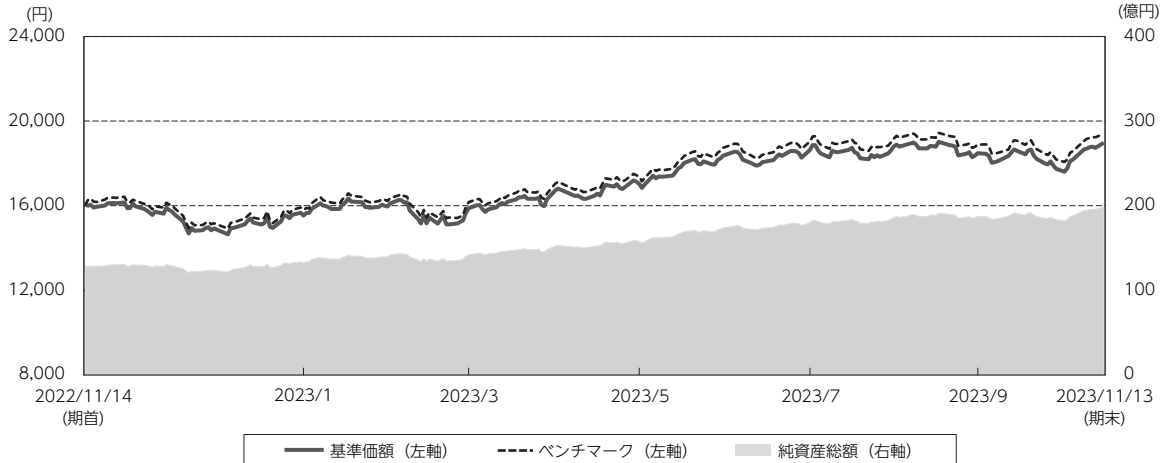
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiasset.com/jp/>

運用経過

基準価額等の推移

(2022年11月15日～2023年11月13日)



期首：16,056円

期末：18,977円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：18.2%（分配金再投資ベース）

(注1) ベンチマークは、FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（米ドルベース）を委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、期首（2022年11月14日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

(注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・米国景気の軟着陸への期待
- ・人工知能（AI）関連の半導体需要増への期待によるハイテク株高
- ・対円で米ドルが上昇したこと

下落要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）の積極的な政策金利引上げ
- ・米国債の格下げによりリスク回避が強まったこと
- ・米国金融機関の破綻に伴う信用不安によりリスク回避が強まったこと
- ・米国債務上限問題によりリスク回避が強まったこと

1万口当たりの費用明細

（2022年11月15日～2023年11月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	12 円	0.068 %	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 4 ）	（ 0.024 ）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 5 ）	（ 0.027 ）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 3 ）	（ 0.016 ）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	－	－	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	（ － ）	（ － ）	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	－	－	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	（ － ）	（ － ）	
(d) そ の 他 費 用	3	0.015	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 2 ）	（ 0.011 ）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 1 ）	（ 0.004 ）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.000 ）	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	15	0.083	
期中の平均基準価額は、16,976円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

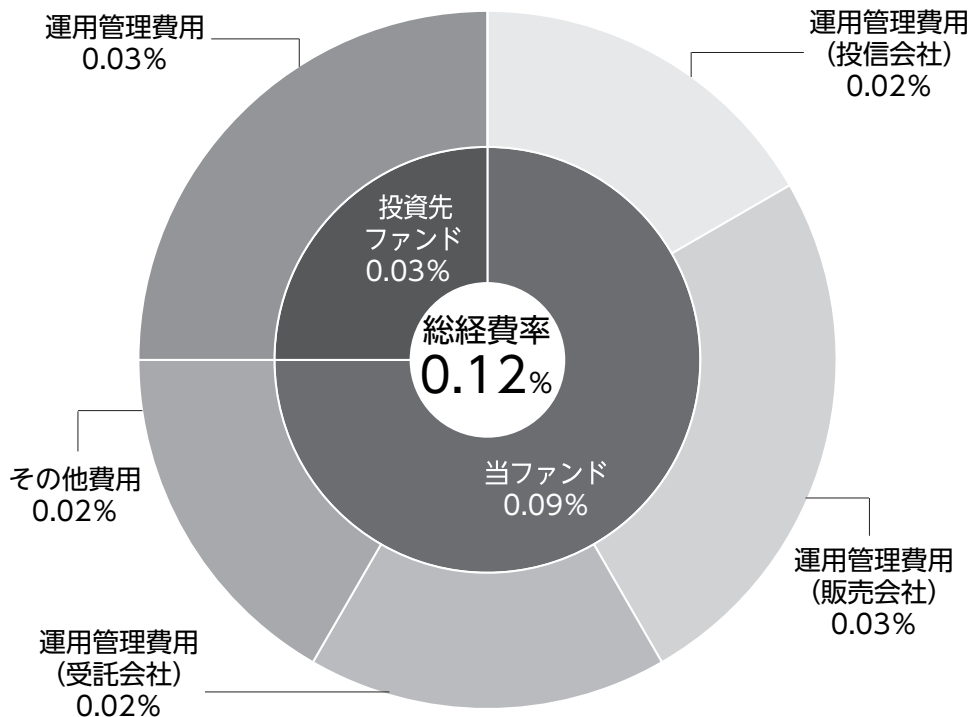
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.12%です。



総経費率 (①+②)	0.12%
①当ファンドの費用の比率	0.09%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月12日～2023年11月13日)



(注1) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

(注2) ベンチマークは、FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（米ドルベース）を委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注3) ベンチマークは、期首（2018年11月12日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注4) ベンチマークの値は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

	2018年11月12日 決算日	2019年11月12日 決算日	2020年11月12日 決算日	2021年11月12日 決算日	2022年11月14日 決算日	2023年11月13日 決算日
基準価額 (円)	9,774	10,424	11,308	15,628	16,056	18,977
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	6.7	8.5	38.2	2.7	18.2
ベンチマーク騰落率 (%)	—	7.4	8.7	40.8	1.9	20.8
純資産総額 (百万円)	551	1,593	3,294	8,175	12,844	19,794

(注1) ベンチマークは、FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（米ドルベース）を委託会社にて円換算しています。詳細はP12をご参照ください。

(注2) ベンチマークは、期首（2018年11月12日）の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。

(注3) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

(注4) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注5) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

投資環境

（2022年11月15日～2023年11月13日）

<先進国株式市場>

期初、米国市場を代表するS&P500種指数は3,900台で始まり、2022年11月にかけて、英減税計画の一部撤回やCPIの伸び鈍化が好感され、S&P500種指数は上昇しました。12月にはS&P500種指数が一時的に下落しましたが、2023年1月に、雇用統計で賃金の伸び鈍化が確認されるとともに、景気の軟着陸期待も強まったことから、上昇しました。その後2月の雇用の大幅増加、CPIの上ぶれや堅調な小売売上高に伴う高インフレ懸念、3月の米国金融機関の破綻に伴う信用不安などにより、S&P500種指数は調整局面に入りましたが、当局の対応などからやや値を戻し、3月は上昇しました。4月から5月末にかけては、レンジ相場が続きました。6月は米債務上限適用停止法案の可決・成立を受けてリスク選好が改善する中、堅調な雇用統計などが好感されて上昇しました。7月はCPIの鈍化、企業の好決算などを受けて、S&P500種指数が更に上昇しました。8月は米国債の格下げからリスク回避の動きが強まるとともに、米長期金利上昇が嫌気され、下落しました。9月は原油高や堅調な米サービス業景況感を受けて長期金利が上昇する中、ハイテク株などが売られ、S&P500種指数は一段と下落しました。11月から期末にかけては、CPIの鈍化による金利の一段の低下などにより、S&P500種指数が反発し、通期ではS&P500種指数は上昇し、4,400台で期を終えました。

<外国為替市場>

期初、米ドル／円相場は140円近辺で始まり、米連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げ幅が拡大されるとの見方が後退してドル安・円高が進み、2023年1月には米ドル／円相場は128円近辺まで下落しました。2月は堅調な米雇用統計や、米サービス業景気指数の予想を上回る改善などから、ドル高・円安が進展しました。しかし、3月は米銀破綻を受けて米金融システム不安が強まる中、ドル安・円高が進みました。4月から6月末にかけて、FRBによる利上げ継続観測、米債務上限問題を巡る過度な懸念後退、日本銀行の金融政策の現状維持などから、ドル高・円安が進みました。その後、米雇用統計の結果が市場予想を下回ったことや日本銀行の政策変更の可能性が市場で意識されたことなどから急速にドル安・円高方向へ転じました。しかしながら、米GDPの上振れなどにより7月中旬から期末にかけてドル高・円安が進みました。8月以降は、米長期金利が上昇する中、日米金利差の拡大が意識され、ドル高・円安が続きました。通期では、ドル高・円安が進み、151円台で期を終えました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年11月15日～2023年11月13日)

<当ファンド>

ベンチマークである「FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象である先進国株式インデックスマザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

<先進国株式インデックスマザーファンド>

ベンチマークである「FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ウエルスアドバイザー株式会社の投資助言を受けつつ、ETF（上場投資信託）を含む投資信託証券を主要投資対象として運用を行いました。

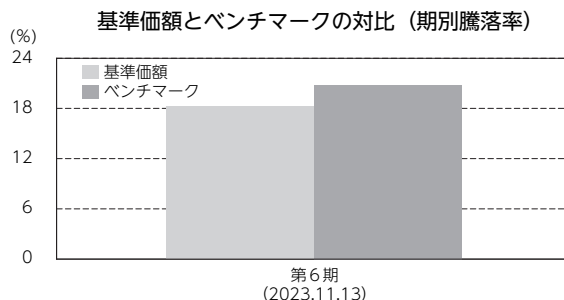
なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.2%となっております。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年11月15日～2023年11月13日)

期中における基準価額は、+18.2%の上昇となり、ベンチマークである「FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）」の騰落率である+20.8%の上昇を概ね2.6%下回りました。

主な要因としては、投資先ETFとインデックスに対するトラッキングエラー（パフォーマンスの乖離）、ファンドとベンチマークにおいて適用される配当税率の差異の要因があげられます。



(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) ベンチマークは、FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）です。詳細はP12をご参照ください。

分配金

(2022年11月15日～2023年11月13日)

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第6期
	2022年11月15日～ 2023年11月13日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,977

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<当ファンド>**

引き続き、ベンチマークである「FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象である先進国株式インデックスマザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

<先進国株式インデックスマザーファンド>

引き続き、ETF（上場投資信託）を含む投資信託証券を主要投資対象とし、ベンチマークである「FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

また、ファンドの運用にあたっては、ウエルスアドバイザー株式会社の投資助言を受けつつ、運用を行う方針です。

お知らせ

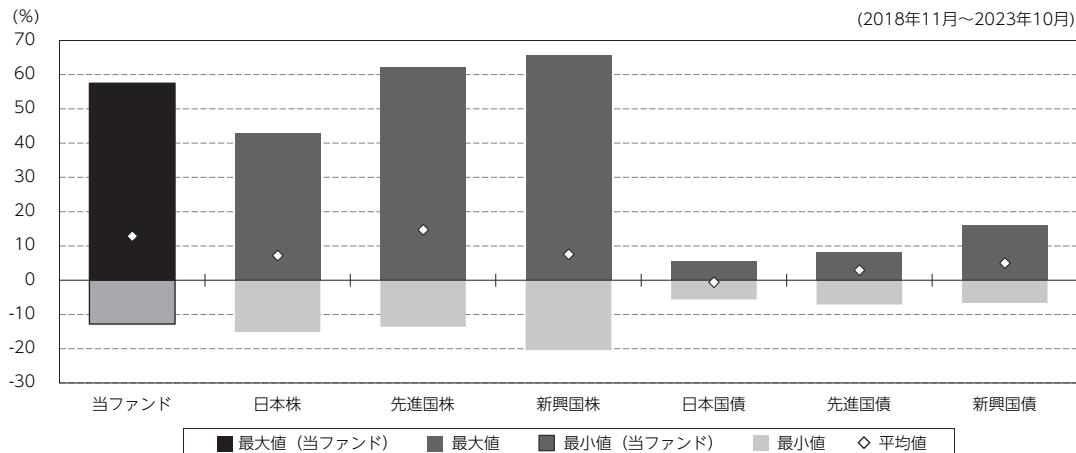
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式／インデックス型	
信託期間	無期限（設定日：2018年1月12日）	
運用方針	先進国株式インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、先進国の株式市場の動きを捉えることをめざして、FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド （ベビーファンド）	先進国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託）を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド （ベビーファンド）	先進国株式インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、先進国の株式市場の動きを捉えることをめざして、FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託）を含む投資信託証券を主要投資対象とし、投資対象ファンドへの投資を通じて先進国の株式市場の動きを捉えることをめざして、FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。なお、複数の投資対象ファンドに投資する場合には、各ファンドの基本投資割合を設定します。ただし、当該基本投資割合は、当該指数の動きへの連動を目的として変動させる場合があります。投資対象ファンドへの投資割合は、高位を維持することを原則とします。
分配方針	年1回決算（原則として毎年11月12日。ただし、休業日の場合は翌営業日）を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益及び売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	57.5	42.8	62.2	65.6	5.5	8.3	16.0
最小値	△ 12.8	△ 15.1	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	12.8	7.2	14.7	7.6	△ 0.6	2.9	5.0

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、2019年1月末から2023年10月末のデータを基に算出しています。なお、当ファンドに係る2018年11月と2018年12月の年間騰落率についてはベンチマークを用いて算出しています。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P12の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年11月13日現在)

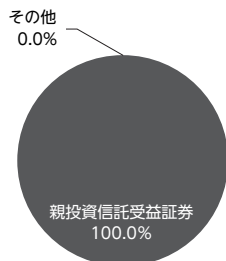
○組入上位ファンド

銘柄名	第6期末
先進国株式インデックスマザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

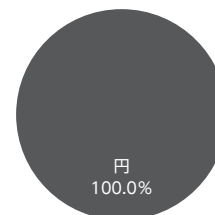
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

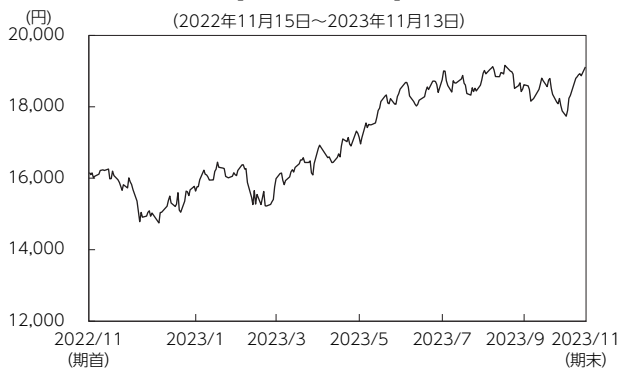
項目	第6期末
	2023年11月13日
純資産総額	19,794,369,233円
受益権総口数	10,430,501,228口
1万口当たり基準価額	18,977円

(注) 期中における追加設定元本額は3,658,719,799円、同解約元本額は1,227,960,984円です。

組入上位ファンドの概要

先進国株式インデックスマザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年11月15日～2023年11月13日)

項目	当 期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	2円 (2)	0.011% (0.011)
(その他)	(0)	(0.000)
合 計	2	0.011

期中の平均基準価額は、17,095円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、P2をご参照ください。

【組入上位ファンド】

(2023年11月13日現在)

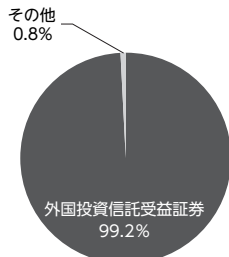
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	SCHWAB US BROAD MARKET ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	64.8 %
2	SPDR PORTFOLIO DEVELOPED WORLD EX-US ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	34.4
組入銘柄数			2銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年11月13日現在のものです。

(注2) 資産別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注3) 国別・通貨別配分の比率は外国投資信託受益証券の評価額に対する割合です。

(注4) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

＜当ファンドのベンチマークについて＞

ベンチマークは、FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス（米ドルベース）を委託会社にて円換算しています。

○FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックス

FTSE ディベロップド・オールキャップ・インデックスは、FTSE社が開発した指数で、先進国株式市場全体の動きを表す指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はFTSE社に帰属します。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

〈各指数の概要〉

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマーゾング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

〈重要事項〉

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与していません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。